



2019年11月7日  
東日本旅客鉄道株式会社

## MaaS Alliance への加盟について

- 東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:深澤 祐二、以下「JR東日本」)は、グループ経営ビジョン「変革2027」において、移動のための検索・手配・決済をお客さまにオールインワンで提供する「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」を構築し、「シームレスな移動」、「総移動時間の短縮」、「ストレスフリーな移動」を実現するため、MaaS (Mobility as a Service) 事業への取り組みを強化してきました。
- このたび、JR東日本はMaaS事業のさらなる推進を目的として、ブリュッセルに本部を置く MaaS Allianceに正会員として加盟することとしました。これは日本の鉄道事業者としては初めてとなります。

### 1 目的

JR 東日本は 2019 年 4 月に、MaaS の構築に向けて、技術イノベーション推進本部内に MaaS 事業推進部門を設立し、MaaS 事業戦略の企画・立案を推進してきました。今回、MaaS 事業推進のための各国関係者との交流やビジネスモデルの検討の推進とともに、JR 東日本や日本の MaaS の取り組みを広く世界に発信することを目的として、MaaS Alliance に加盟します。

### 2 MaaS Alliance について

MaaS Alliance とは、MaaS 構築に向けた共通基盤を作り出す公民連携団体で、ヨーロッパからアジア・環太平洋地域(日本、韓国、米国、オーストラリア)に渡る 87 の会員で構成されています。ヨーロッパを中心とした世界各地において、MaaS の発展を促すため、議論の場の提供や情報発信など各種活動を行っています。



【参考】MaaS 提供に関するJR 東日本の取組み

グループ経営ビジョン「変革2027」において、移動のための検索・手配・決済をお客さまにオールインワンで提供する「モビリティ・リンクージ・プラットフォーム」を構築し、「シームレスな移動」「総移動時間の短縮」「ストレスフリーな移動」を実現することを目指しています。

これにより、お客さまが24 時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせるサービスを利用できる環境を実現します。

